



神奈川県の糖尿病対策について

神奈川県・神奈川県糖尿病対策推進会議
令和5年11月9日

1 令和5年度 世界糖尿病デー「ブルーライト県庁」

11月14日「世界糖尿病デー」

(11/12~11/18 糖尿病週間)

神奈川県庁ブルーライトアップ

■日時

令和5年11月13日(月)~16日(木)

17時~21時

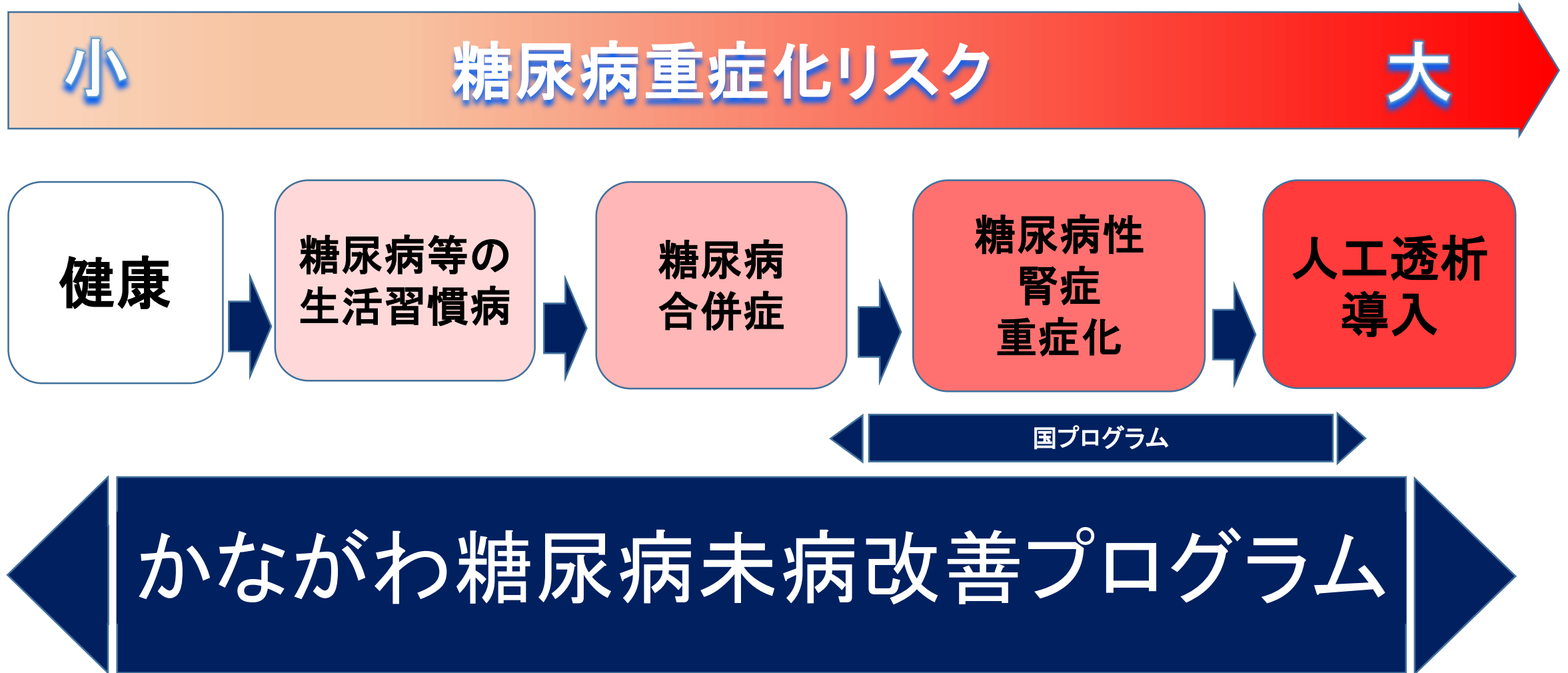
■会場

神奈川県庁本庁舎

Kanagawa Prefectural Government



2 かながわ糖尿病未病改善プログラム



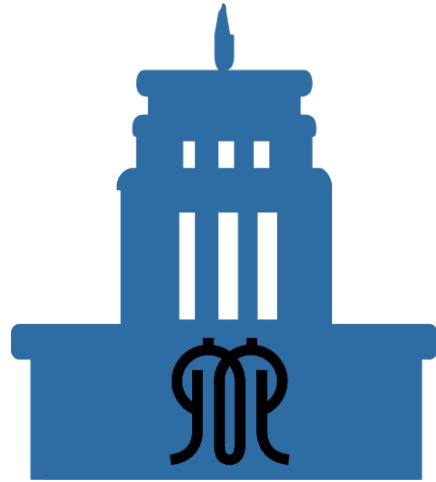
県と医師会をはじめとする医療関係者等が様々な取組を実施

3 かながわ糖尿病未病改善プログラムの特色

糖尿病治療中断者・未治療者への受診勧奨

【神奈川県】

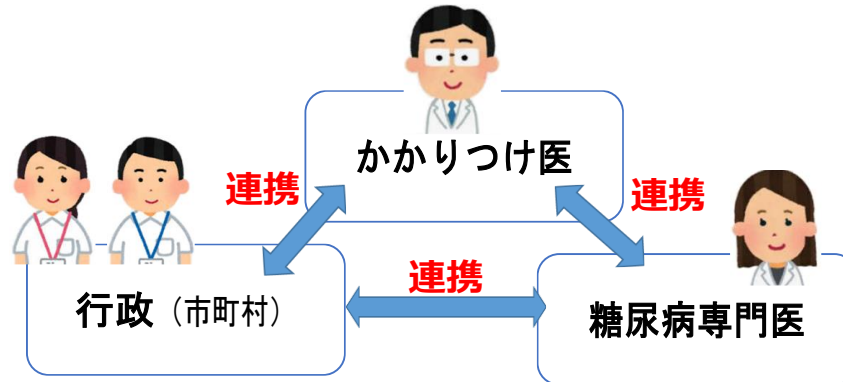
ハイリスク者リストを市町村に提供



支援
連携

【市町村】

かかりつけ医等との連携



【かかりつけ医】

適切な治療

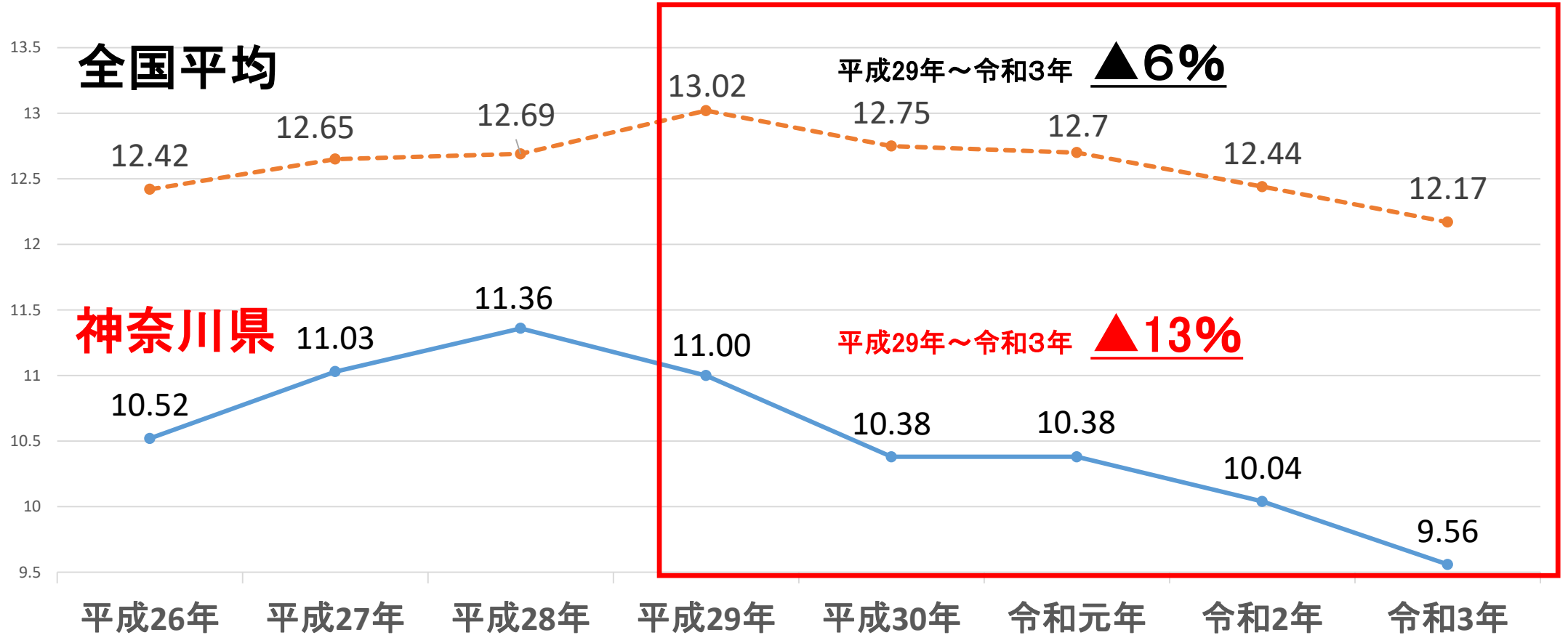


受診
勧奨

透析移行ハイリスク者を 早く確実に医療につなぐ

4 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の推移 (人口10万人あたり)

H29年から神奈川県は減少・全国と比較しても少ない患者数



5 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数（都道府県別）

神奈川県の新規透析導入患者数は、**全国4番目の少なさ**
(人口300万人以上の都道府県では最も少ない)

(令和3年)

都道府県	糖尿病性腎症 新規透析患者数	人口10万人対	全国順位
新潟県	190	8.7	1
三重県	159	9.1	2
島根県	61	9.2	3
神奈川県	883	9.6	4
⋮	⋮	⋮	⋮
東京都	1,542	11.0	10
愛知県	872	11.6	17
大阪府	1,040	11.8	19

6 神奈川県医師会が推進する糖尿病への対策

普及啓発

座談会の新聞掲載

R4「糖尿病に対する
スティグマ」

R5「がんと糖尿病」

市民公開講座の開催

など

環境整備

神奈川県 糖尿病対策推進会議

- 神奈川県医師会
- 日本糖尿病学会(関東甲信越支部)
- 神奈川県糖尿病協会 ● 神奈川県内科医学会

神奈川県 糖尿病対策連絡会

- 神奈川県歯科医師会 ● 神奈川県薬剤師会
- 神奈川県看護協会 ● 神奈川県眼科医会
- 神奈川県 ● 神奈川県予防医学協会
- 健康保険組合連合会神奈川連合会

早期発見・ 発症予防

ネットワークの 構築・強化

市町村と専門医の 連携強化を図る ワークショップ

(R2・R5)

など

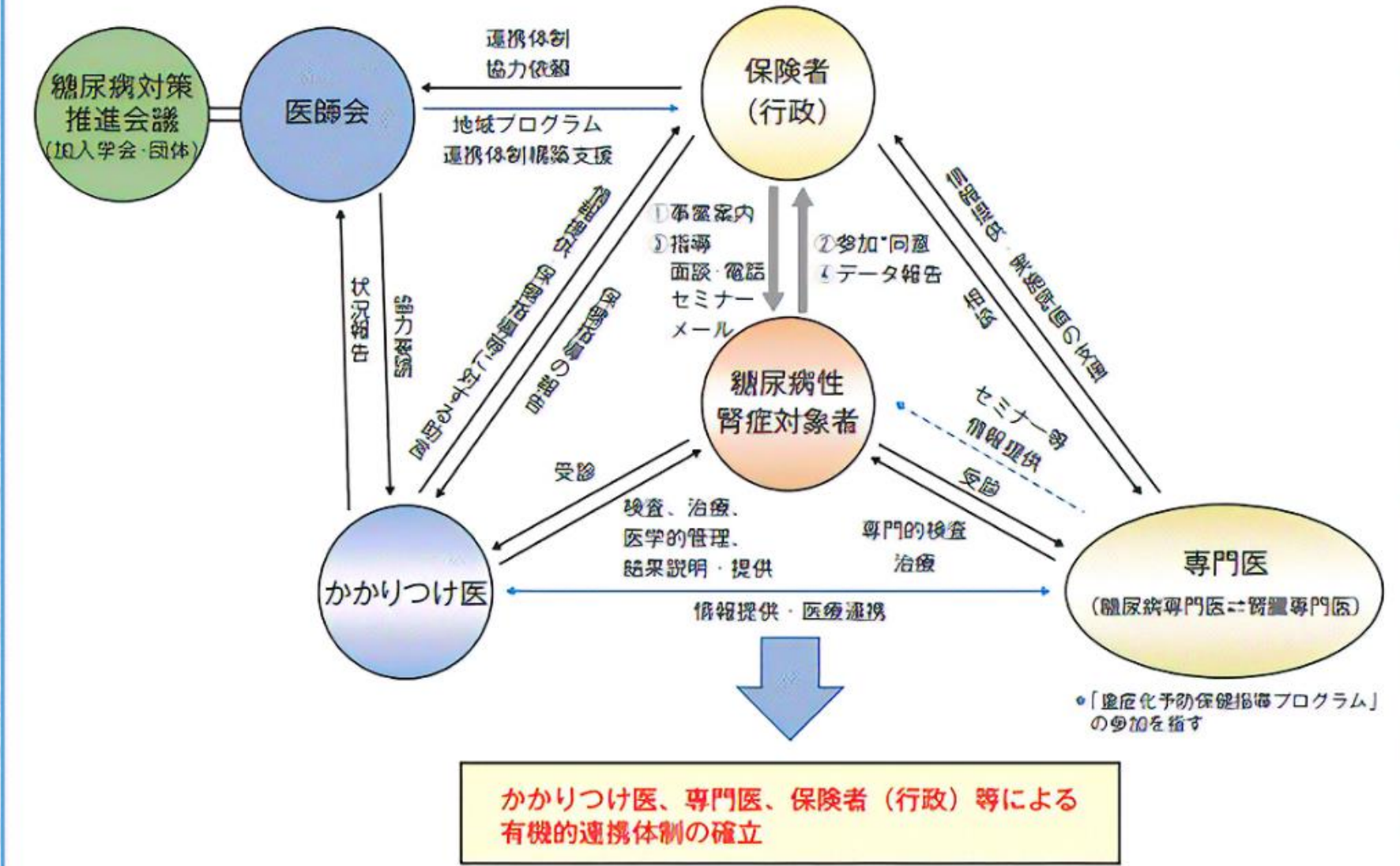
7 神奈川県糖尿病対策推進会議が推進する糖尿病への取組

なぜ糖尿病腎症重症化（透析）予防か？

- 腎透析患者数は漸増
- 透析導入疾患別で糖尿病は未だに第1位
- 血液透析患者費用は年間450～500万円
- 年間1兆6千億円以上→保険制度破綻の要因
- 日本の単位人口あたりの透析数は世界一

糖尿病性腎症重症化予防のために役割分担と連携

市町村での実践に際し、関係者で具体的な方策を協議、実践



糖尿病性腎症重症化予防プログラムの目標

患者:クオリティの高い生活が続けられる
行政:拠出金額が減る
かかりつけ医:患者を長く診ることが出来る

プログラムを推進するために...

行政:予算取り付け

医師会:事業の周知・説明

専門医:医療人的資源の提供とコンサルテーション

行政・医師会・かかりつけ医・専門医
協力・連携・枠組み作り それぞれの立場の理解

糖尿病性腎症重症化予防

- 血圧の厳重なコントロール
ARB、ACE 阻害薬の使用
- 血糖のコントロール
SGLT 2 阻害薬の使用
- 禁煙
- 脂質異常症の治療
- 高尿酸血症の治療

糖尿病腎症重症化予防のためのワークショップの開催

県、市町村、郡市医師会担当理事、各地域糖尿病専門医
県糖尿病対策推進会議 委員

→各地域での取り組み、今後の予定、目標

県民に対して糖尿病の啓発活動

新聞にて ・ 1型糖尿病 スティグマ・アドボカシー活動
・ 「がんと糖尿病」

県庁、大船観音 等のブルーライトアップ

多職種連携での糖尿病対策

各地区の勉強会

CDEJ (日本糖尿病療養指導士)

KLCDE (神奈川糖尿病療養指導士)

内科医学会糖尿病対策委員会（委員長 松葉育郎）

- 眼科と内科の連携 糖尿病連携手帳の普及
- 神経障害の調査
- 尿中アルブミン測定の調査と普及
- 一般医科に対する院内インスリン導入指導
- シタグリプチンに対する臨床研究
- シタグリプチンとインスリン併用効果の臨床研究
- SGLT 2 阻害薬に対する臨床研究